

バイデン米副大統領夫人 CUNYラガーディア校を 訪問



同校ジャパン・クラブのテーブルを訪問するバイデン米副大統領夫人(右)。同校日本語講師の宮下裕子さん(左)が同夫人の名前を書道で記す=4日、マンハッタン(撮影:馬淵敦子)

オバマ米大統領の米公立二年制大学などの授業料無料化の提案「Heads Up America」を受け、4日、バイデン米副大統領夫人がニューヨーク市立大学(CUNY)ラガーディア校を訪問した。

ニア駅近く

人死亡、2人重傷

よると、被害者はいずれも40代の男性。近くの飲食店でトラブルがあり、それが発砲事件のきっかけになった可能性がある。と報じている。また、警察は容疑者(27歳・男性)の写真を10日に公開している。

コミュニティ・カレッジと呼ばれる米公立二年制大学は、地域住民の高等教育や生涯教育を目的に設立されており、通学する生徒の年齢が幅広い反面、生徒の中には授業料と生活費をまかなうために、学業の合間に複数の仕事を掛け持っているケースも少なくない。「Heads Up America」が実現されると、年間で一人当たり最大3800ドル(約45万円)の授業料が免除される見込み。

夫人の訪問当日は、同校の15の学生クラブなどが活動内容などを紹介。スピーチに続き、夫人は各クラブのテーブルを回り学生たちと談笑。同校ジャパン・クラブのテーブルでは、日本の書道を披露。夫人の名前を日本語で書き、プレゼントした。